

保健医療福祉システム論	2年・後期	1単位	教授 豊田 修一
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32320482

1. 授業のねらい・概要

保健医療福祉の分野にもビッグデータの波が押し寄せてきている。そこで、本講義では保健・医療分野の情報化をデータ分析や情報収集の視点から捉える。特に、個人の保健医療データの利活用やインターネット上での情報検索について学習する。

2. 学修の到達目標

1. 保健医療福祉情報の検索方法について理解している。
2. 個人の保健医療データの発生の現状・追跡方法について理解できる。
3. 保健医療データの分析について理解する。

3. 授業の進め方

講義を中心に進めるが、学生の主体的な取り組みを期待する。

4. 授業計画 (講義)

1. 保健医療福祉システムの現状
2. 個人保健医療データの発生の現状
3. 個人保健医療データの追跡
4. 保健医療福祉情報の検索
5. 保健医療福祉情報の利活用
6. 保健医療データの分析 (低次元)
7. 保健医療データの分析 (高次元)
8. まとめ

5. 成績評価の方法・基準

定期試験 (受験資格は3分の2以上の出席した者) 90%, 提出物 10% で、総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

参考文献：樺沢一之，豊田修一：医療情報学入門第2版，共立出版．978-4-32012431-8
 日本医療情報学会：新版 医療情報 医療情報システム編，篠原出版．
 中山健夫：健康・医療の情報を読み解く健康情報学への招待，丸善．978-4621080085
 その他適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲の予習及び授業内容の復習で30分程度の学習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項

Excel，統計学についての知識は必須である。十分な復習をしておくこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

「看護の対象の理解」に区分される選択科目である。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

企業におけるシステム技術者としての実務経験を活かして，講義を行う。